JES GROUP

証券コード 9249

日本エコシステム株式会社
2026年 9月期 決算説明資料

2026年 11月 13日

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

2026年9月期 ハイライト

M&Aおよび既存事業の順調な伸展により**売上高・営業利益・経常利益で過去最高**を更新。
売上高CAGRは3期連続20%台による事業成長を実現

- **成長戦略である**M&Aを当期累計4件**実行**
  （詳細は決算説明資料14ページをご覧ください）
- **営業利益率は**8%台に回復、来期予想は9%台**で更なる収益性向上を目指す**
  （詳細は決算説明資料20ページをご覧ください）
- **来期配当は**株式3分割後も前期比1円の増配を予想。**
  継続的な増配により、安定した配当成長を維持**
  （詳細は決算説明資料37ページをご覧ください）

JESG ©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

目次

01 2026年9月期 決算概要 P04

02 2026年9月期 M&A・PMI P13

03 2027年9月期 業績予想 P18

04 トピックス・サステナビリティ P25

05 事業開発・研究開発の状況 P33

06 株主還元・株式情報 P36

07 役員紹介 P39

08 会社概要 P42

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

通期トピックス

第1四半期

2025年 10月

IR 10月1日
地域密着型スポーツ振興に向けた協賛契約締結のお知らせ

IR 10月14日
剰余金の配当に関するお知らせ
決算説明資料、決算短信
2023-2025中期経営計画の振り返り

IR 10月25日
役員候補者に関するお知らせ

ニュース 12月22日
浜松事業所移転のお知らせ

IR 12月23日
有価証券報告書、内部統制報告書

IR 12月24日
第28期定時株主総会

IR 12月26日
JICA「中小企業・SDGsビジネス支援事業」採択に関するお知らせ

第2四半期

2026年 1月

IR 2月13日
第1四半期決算説明資料、決算短信
グループ組織再編（連結子会社間の合併）に関するお知らせ

IR 2月20日
札幌証券取引所・福岡証券取引所への重複上場申請に関する取締役会決議のお知らせ
株主優待制度の変更（拡充）に関するお知らせ

IR 3月6日
第60回日本水環境学会年会におけるポスター発表に関するお知らせ

IR 3月23日
「JESG中長期ビジョン」の策定に関するお知らせ

ニュース 3月31日
採用サイトリニューアルのお知らせ

第3四半期

2026年 4月

IR 4月1日
大鐘測量設計株式会社のグループ化

ニュース 4月7日
健康経営優良法人2026に認定※6年連続

IR 4月22日
札幌証券取引所本則市場への上場に関するお知らせ

IR 4月30日
「統合報告書2026」の発行に関するお知らせ

IR 5月15日
第2四半期決算短信、
中間配当、決算説明資料、
半期報告書-第29期

IR 5月27日
福岡証券取引所本則市場への上場に関するお知らせ

第4四半期

2026年 7月

IR 8月7日
第3四半期決算説明資料、決算短信

IR 8月24日
連結子会社からの配当金受領に関するお知らせ

IR 8月25日
個人投資家向け会社説明会「福証IRフェスタ2026秋」登壇のお知らせ

※トピックスの一部を抜粋して掲載しております。

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

2026年9月期
決算概要

01

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

01 損益計算書サマリー

売上高（対前年比増）：M&A推進、既存事業の伸展により順調に推移
営業利益・経常利益（対前年比増）：収益性向上により大幅な利益増加
当期純利益（対前年比増）：営業利益増加による当期利益増加

（百万円）

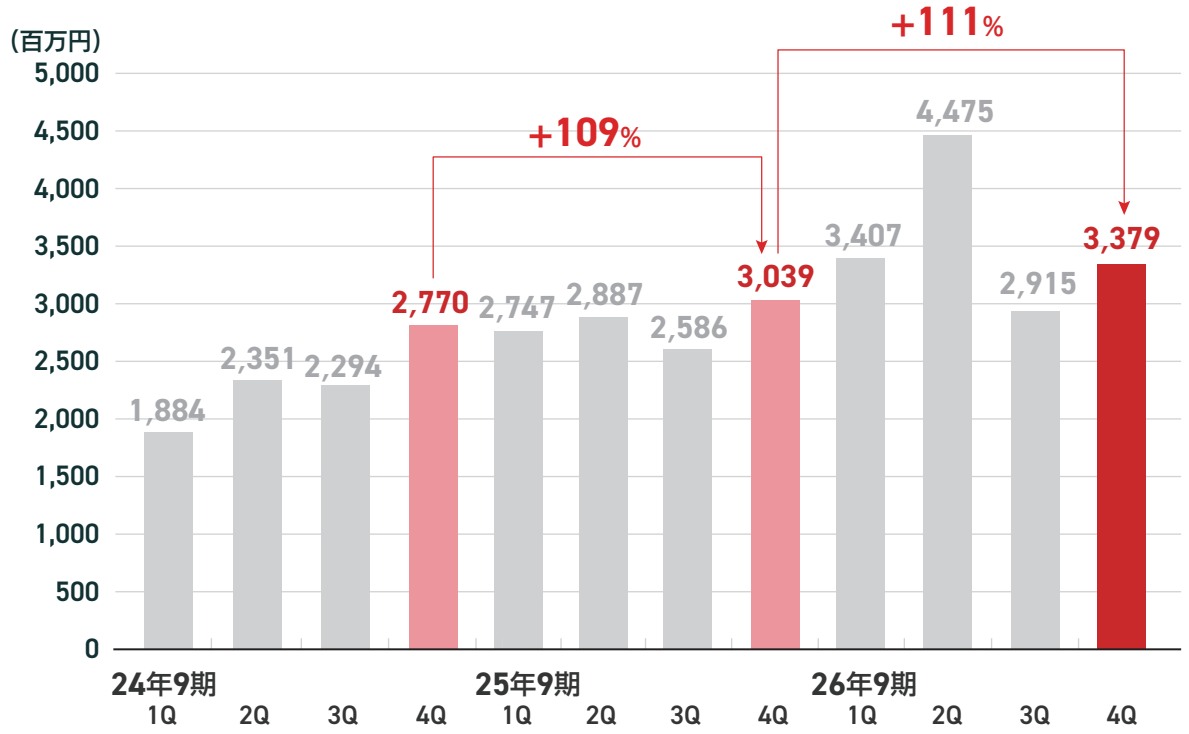
	2025年9月期 実績	2026年9月期 実績	対前年比	通期計画 2025/11/14 公表	進捗率 対計画比
売上高	11,261	14,177	125.9%	14,200	99.8%
営業利益	437	1,166	266.8%	1,000	116.6%
経常利益	468	1,179	251.9%	1,000	118.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	301	528	175.1%	575	92.0%

JESG ©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

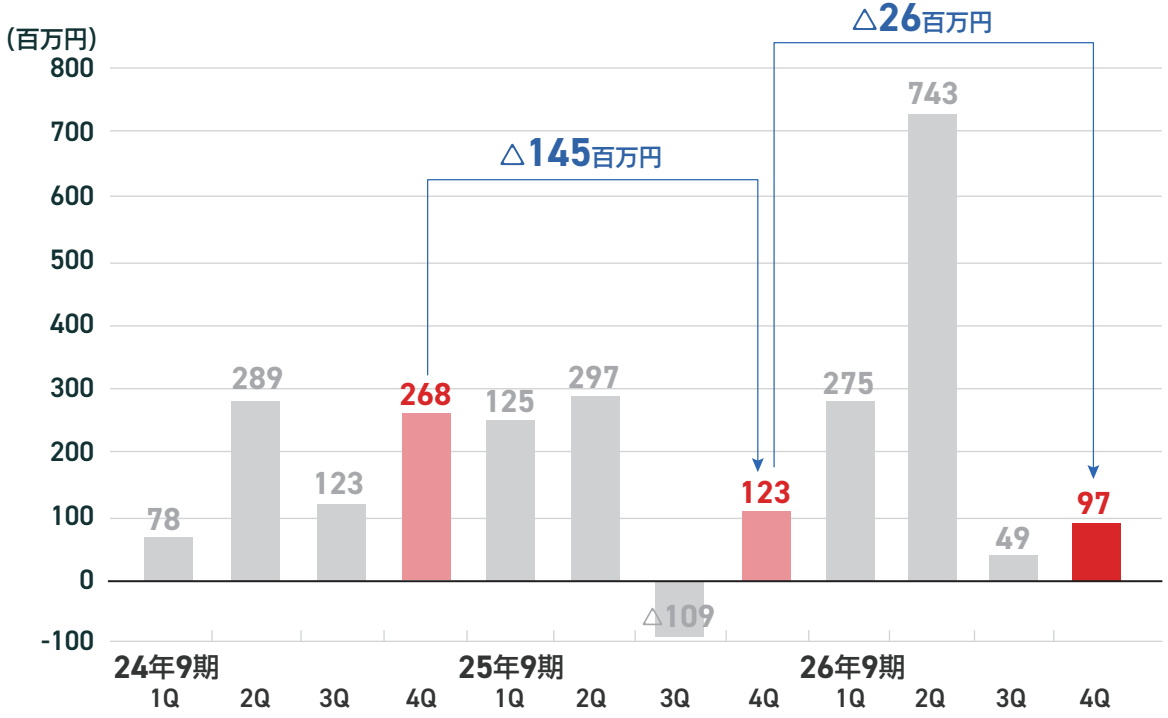
01 売上高・営業利益の四半期推移

4Q売上も順調に推移、増収効果から営業利益は増加

売上高の四半期推移



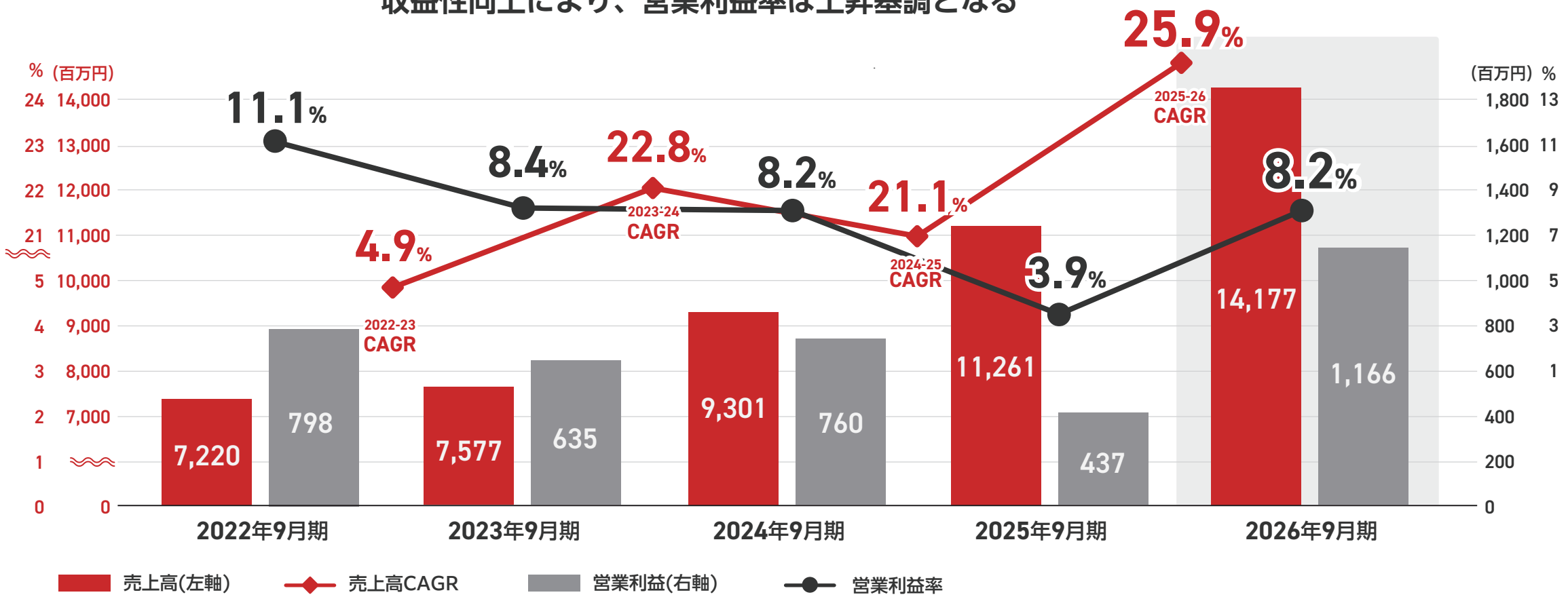
営業利益の四半期推移



JESG ©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

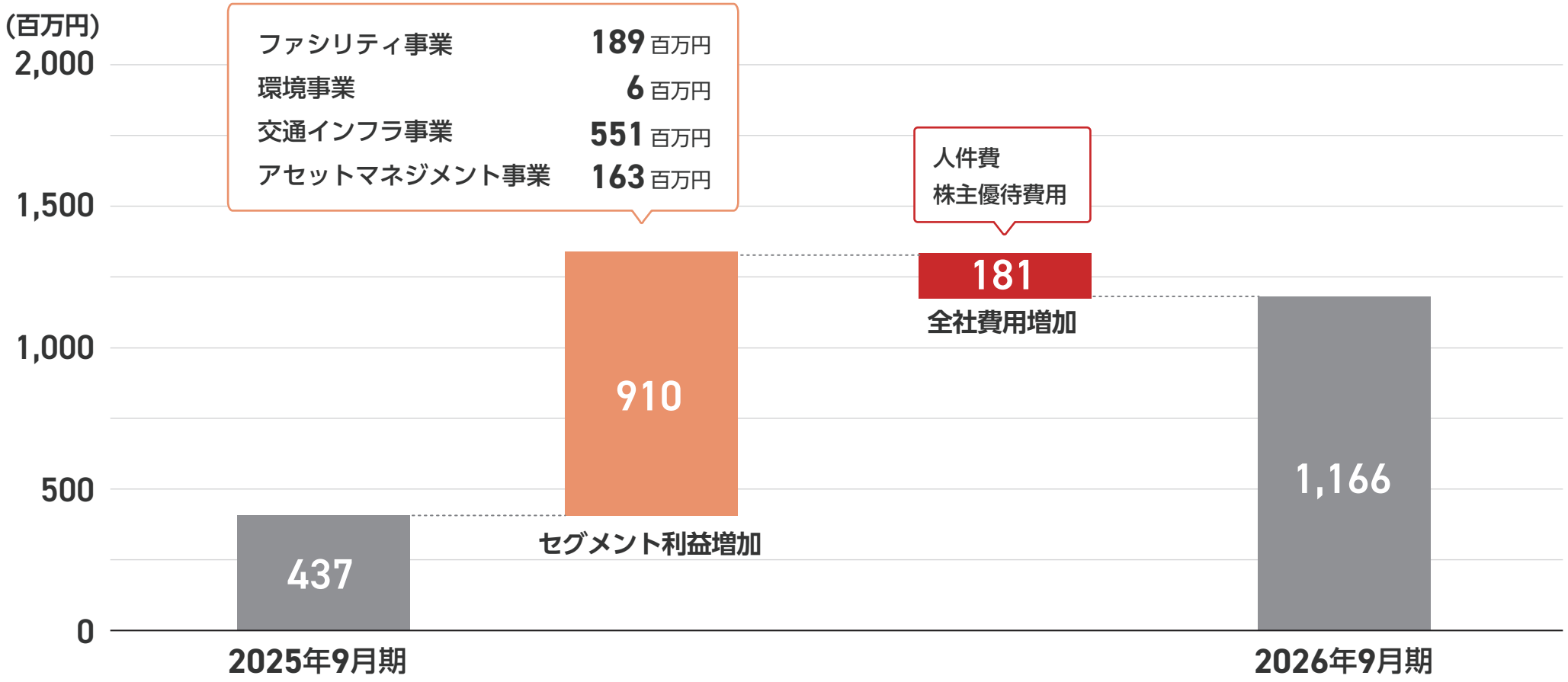
01 売上高・営業利益の推移

売上高（対前年比増）：連続的M&A実行によりCAGRは3期連続20%台による事業成長を実現
営業利益（対前年比減）：M&A手数料や採用・教育などの人材投資に伴う費用は増加するものの、
収益性向上により、営業利益率は上昇基調となる



©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

01 営業利益の増減要因分析



©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

01 ファシリティ事業の売上高・営業利益

ファシリティ、公営競技関連、ICTソリューション

売上高	5,613百万円	108.1%	UP
営業利益	694百万円	137.4%	UP

対前年比 ◎

分析

① 空調給排水衛生設備の設計・施工・保全に関わる事業が好調

② 公営競技の機器設置および通信工事案件が堅調に推移

JESG ©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

01 環境事業の売上高・営業利益

水循環システム・アクアリウム、産業用太陽光発電設備の施工

売上高	1,718百万円	106.5%	UP
営業利益	352百万円	102.0%	UP

対前年比※ ◎

分析

① 産業用太陽光（再生可能エネルギー）発電設備が売上・営業利益ともに順調に推移

② 水処理剤の事業規模拡大が継続

※LED事業の報告セグメントを交通インフラ事業から環境事業に変更したことに伴い、前期（前連結会計年度）も変更後の区分により、比較しております。

JESG ©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

01 交通インフラ事業の売上高・営業利益

施設（電気通信等）保全業務、道路保全業務

売上高	6,369百万円	156.8%	UP
営業利益	1,217百万円	182.7%	UP

対前年比 ◎

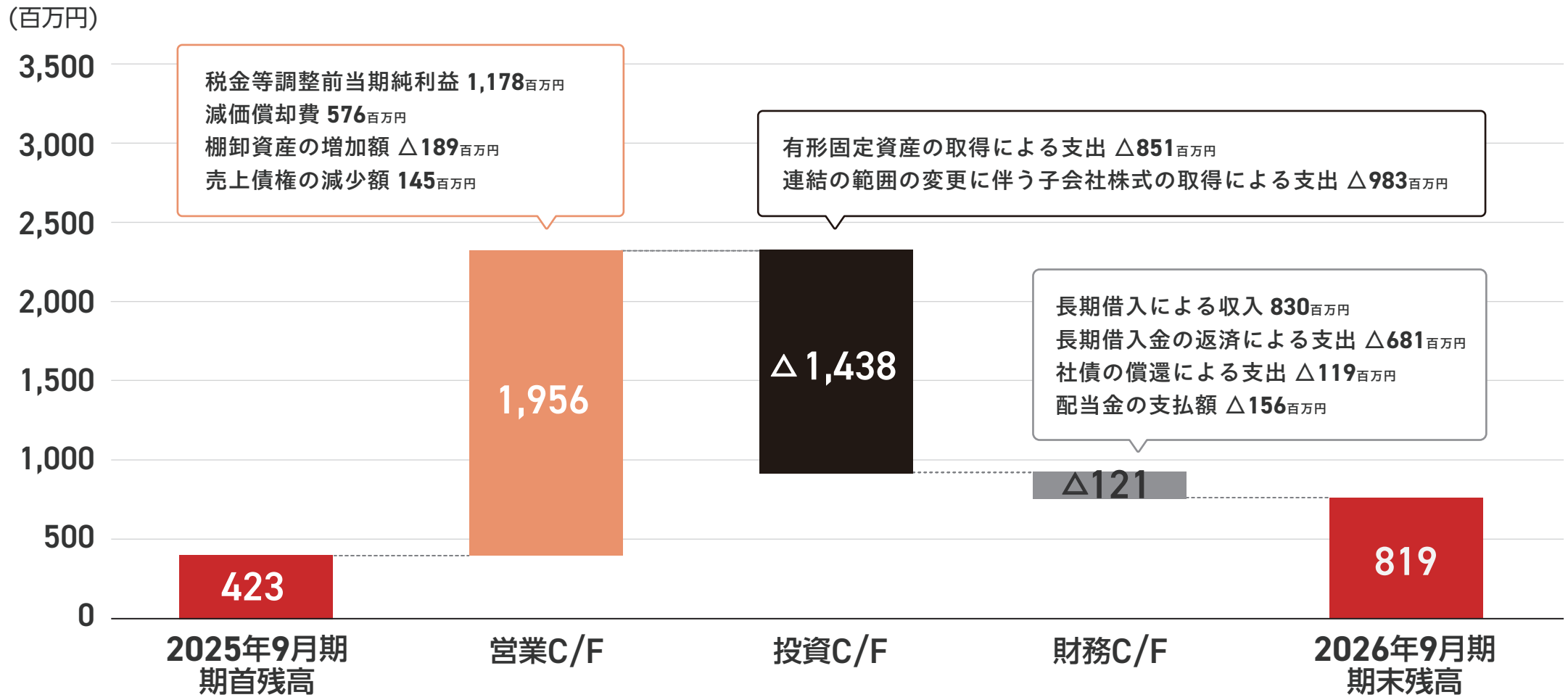
分析

① 2025年４月よりグループ化したＪｅｓ東海通建・三進の通期寄与

② 高速道路運営事業者からの受注が堅調に推移

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

01 キャッシュ・フローの状況



©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

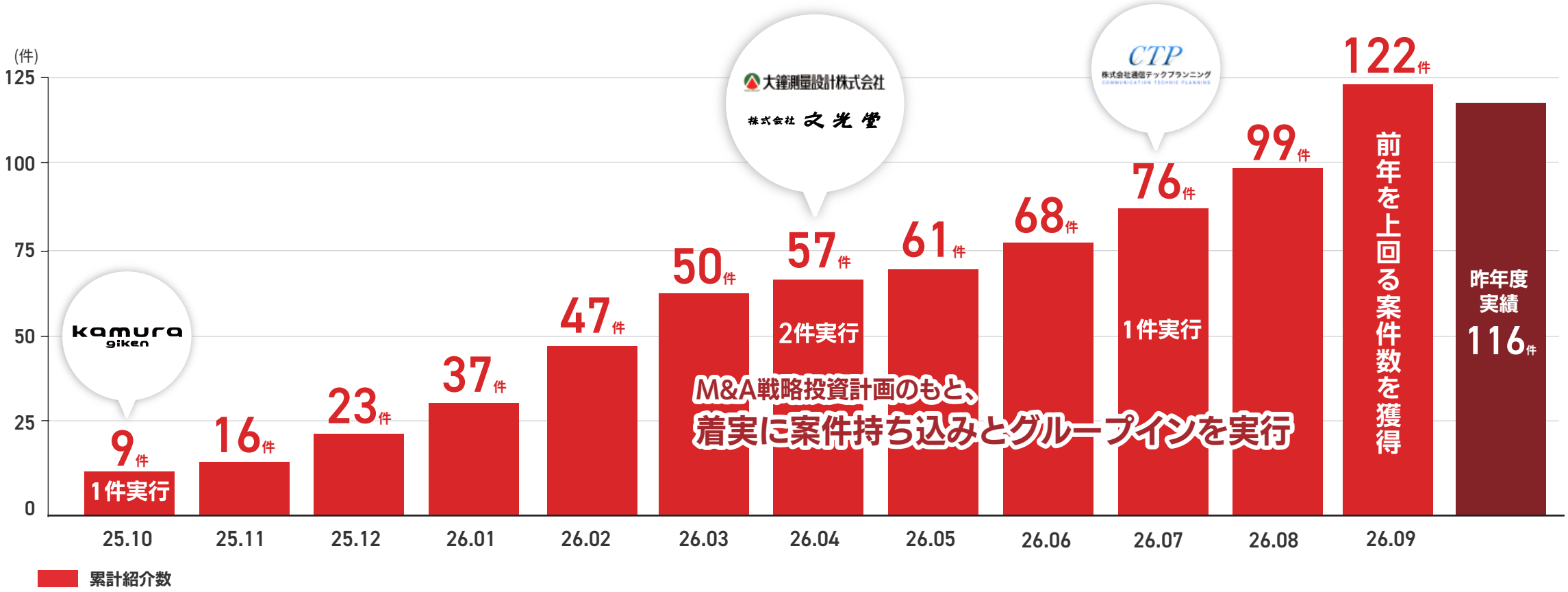
2026年9月期
M&A・PMI
～2026/11/13時点含む

02

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

02 2026年9月期 M&A案件累積推移

社内M&Aチームを組成し、オーガニック・インオーガニック両面での成長追求。
2026年9月期（26/11/13時点）は4件のM&Aを実行。仲介会社や金融機関からの紹介案件も継続獲得中



※ノンネーム情報の検討は上記件数に含めておりません。

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

02 2026年9月期 M&Aの振り返り

各セグメントの事業範囲拡充を目的としたM&Aを実施

交通インフラ事業

2025年10月

kamura giken

ニッチ市場での強みを グループの力に

● **事業内容**

河川工事、トンネル工事、橋梁工事、土地造成工事、下水道管理埋没工事、治山工事、とび・土工工事

競合の少ない道路フェンス・ガードレール設置工事の分野で、高い見積り精度と自社施工体制により信頼を築いてきた同社をグループ化し、交通インフラ事業のサービスを広げます。

交通インフラ事業

2026年4月

大鐘測量設計株式会社

川上業務を強化し 総合建設コンサルへ

● **事業内容**

建設コンサルタント（測量、設計コンサル、調査、補償）、開発行為、建築・リスクマネジメント、ドローン活用

地方公共団体や大手ゼネコンを主な取引先とし、グループが総合建設コンサルタントとして業務領域を広げるうえで、川上業務を強化します。

アセットマネジメント事業

2026年4月

株式会社 文光堂

地域に愛される文具店を さらに魅力ある店舗へ

● **事業内容**

文具、画材、コミック画材、和紙、OA 機器、複合機、オフィス家具の店舗販売および外商

店舗を改装し、ゆっくりと商品を見て回れる居心地のよい売り場づくりを計画しています。あわせて取扱商品の幅を広げ、これまでのお客様はもちろん、新たなお客様にも足を運んでいただける店舗を目指します。

交通インフラ事業

2026年7月

CTP 通信テックプランニング Communication Techniques Planning

通信インフラ分野の 事業領域を強化

● **事業内容**

携帯基地局、無線中継局およびデジタル放送設備の構築を主体とした電気通信工事業、ネットワーク設備に関する施工・管理

放送局や携帯電話基地局、防災行政無線などの通信インフラ工事を設計から施工まで手がける同社をグループ化し、交通インフラ事業の領域を強化します。

今後も継続的にM&A投資を実施

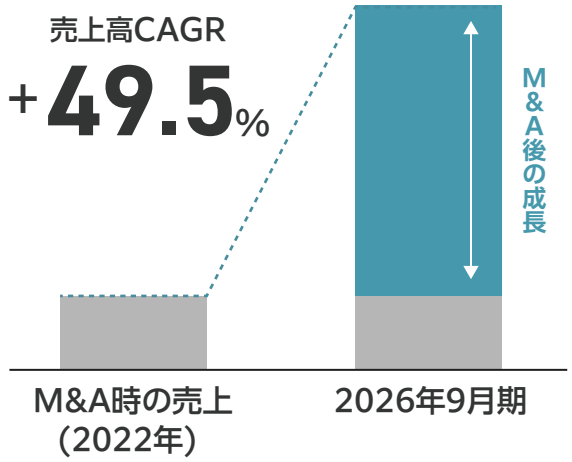
©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

02 M&A後の成長率

グループ各社の顧客基盤や技術・営業ノウハウを相互に活用することで、事業領域と販路の拡大が着実に伸展。M&A後には新たな市場の獲得とともに、持続的な成長率を達成

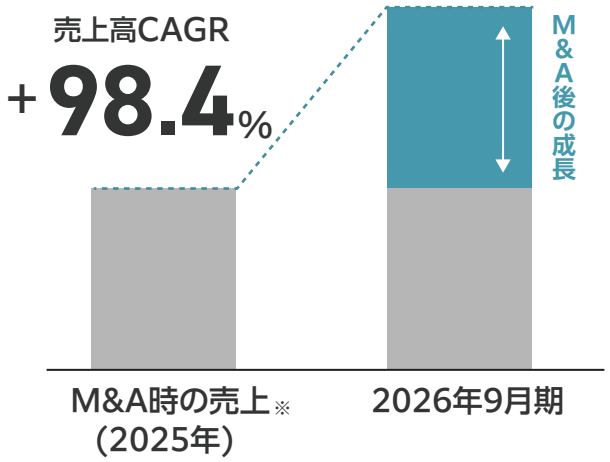
JESG JESファシリティーズ

当社グループの自治体・ゼネコン・公共施設向けの営業基盤を活かし、空調・給排水衛生・消防設備の施工から保守メンテナンスまで受注が拡大し成長



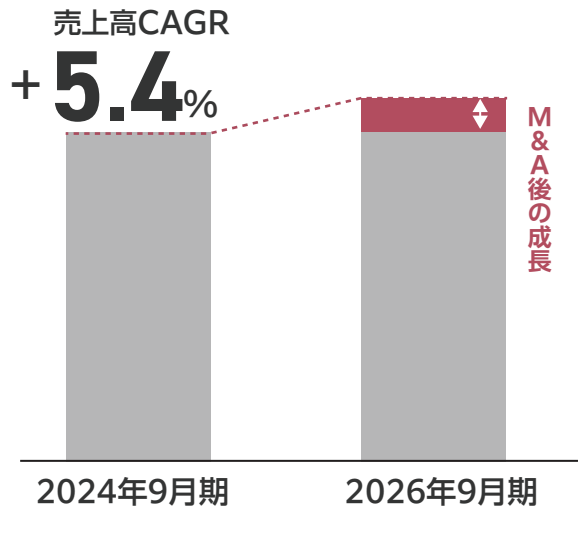
Jes東海通建

グループの交通インフラ事業と連携し、携帯電話基地局工事の受注と当社の高速道路エンジニアリング事業への進出により拡大。太陽光発電設備やEV充電器の設置工事へも事業領域拡大



VENIX ベニクス株式会社

当社グループの営業ノウハウによって防炎合板の全国への販路拡大を進めるとともに、建築用型枠の設計・加工・組立など対応領域を広げ成長



※Jes東海通建の売上高は、M&A時の決算期(2025年4月～9月)の実績を2倍した年換算値で記載しております。

JESG ©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

02 M&A戦略投資の累計金額(2025/10~2026/9)

M&A戦略投資の金額 2026~2030年9月期 100~300億円

実績金額

約13億円投資

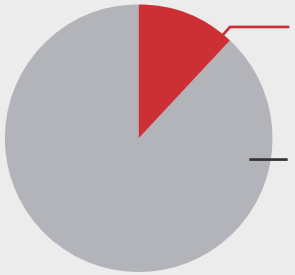
4件のM&A戦略投資の合計

①株式会社カムラ技建
②大鐘測量設計株式会社
③株式会社文光堂
④株式会社通信テックプランニング

※仲介費用と調査費用を含みます

進捗率

約4%~約13%



2025/10~2026/9
約13億円を投資し、8分の1程度の進捗

2026/10~2030/9
残り87億円~287億円を投資予定

※M&A戦略投資の金額は、2026年3月23日公表の「JESG中長期ビジョン」にて公表しております。

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

2027年9月期
業績予想

03

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

03 業績予想の損益計算書サマリー

売上高：前期M&Aの通期寄与による対前年比増加を予想
営業利益・経常利益：前期M&Aの通期寄与による対前年比増加を予想
親会社株主に帰属する当期純利益：上記の利益増加により対前年比増加を予想

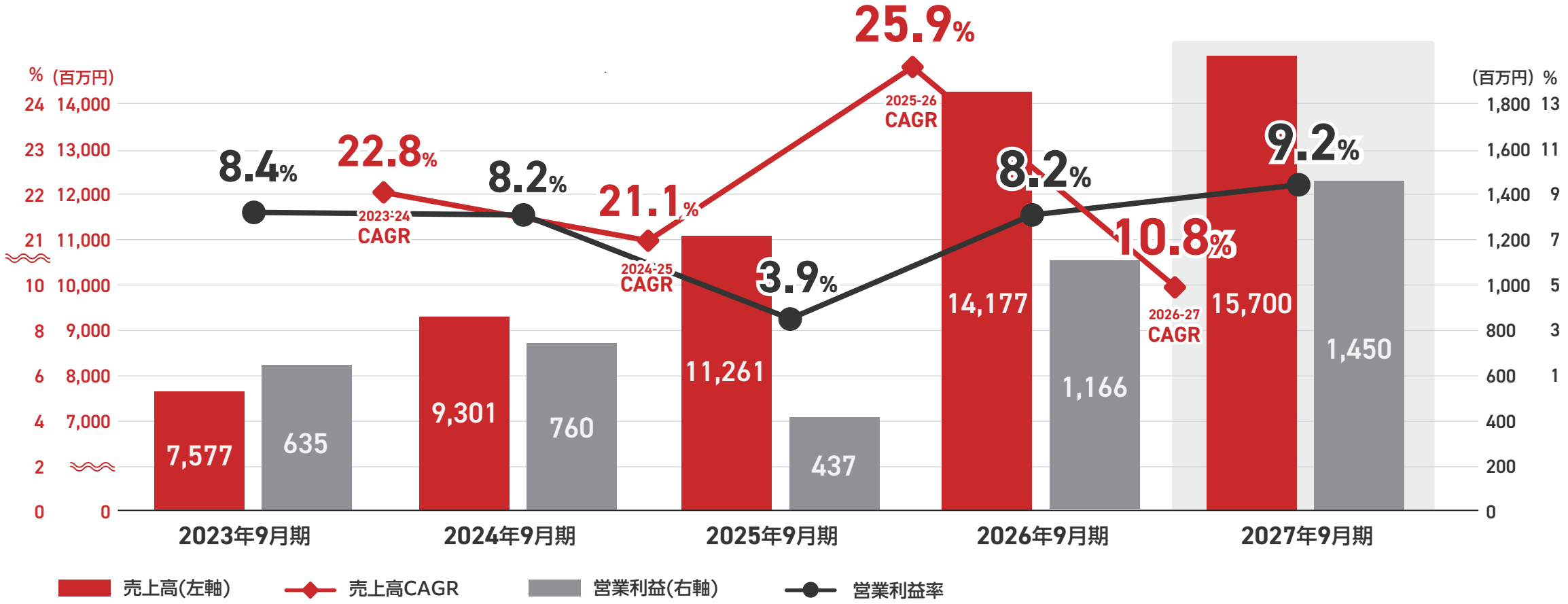
（百万円）

	2026年9月期 実績	2027年9月期 予想	対前年比
売　上　高	14,177	15,700	110.7%
営 業 利 益	1,166	1,450	124.3%
経 常 利 益	1,179	1,380	117.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	528	900	170.2%

JESG ©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

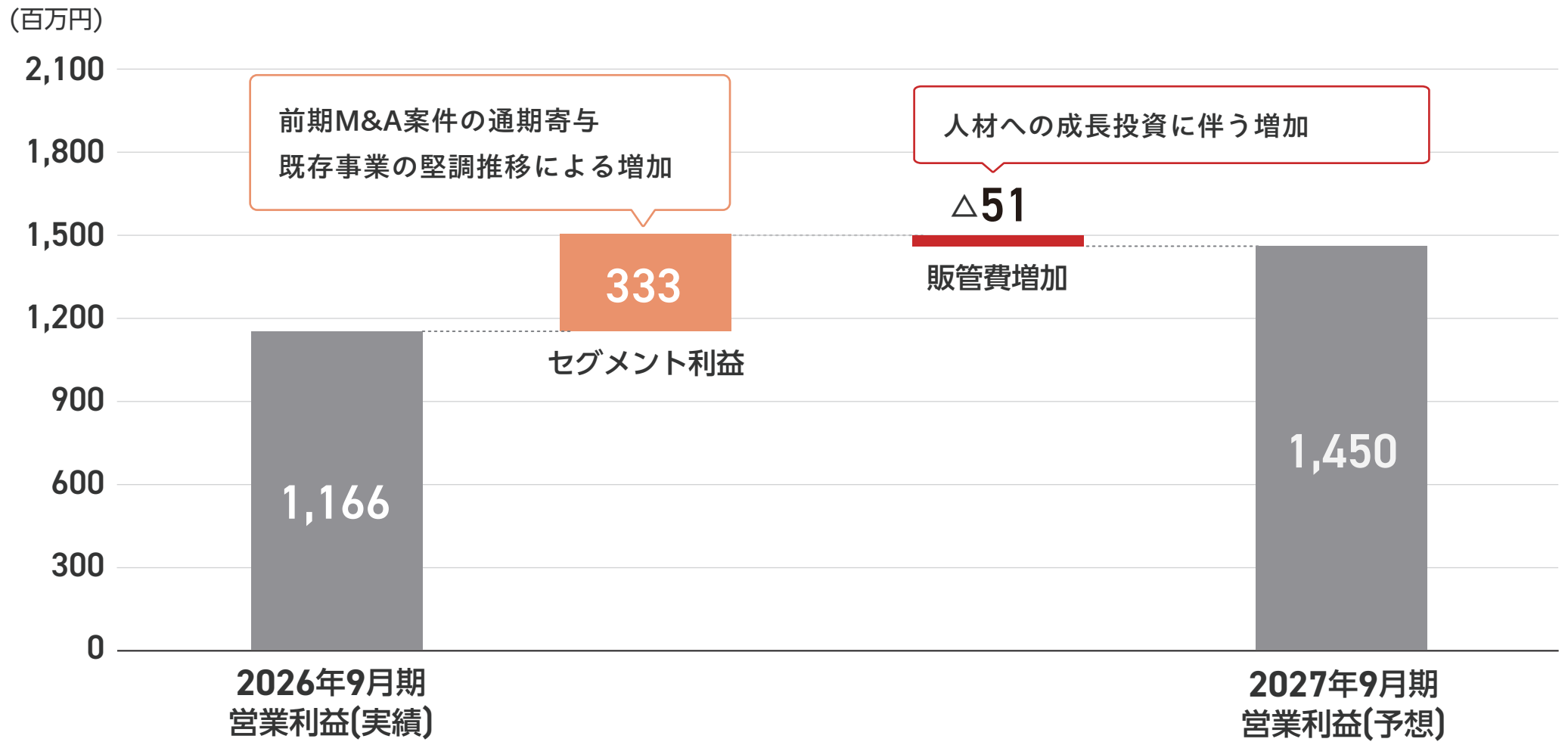
03 売上高・営業利益の予想

前期M&Aした事業の通期寄与と既存事業のオーガニック成長により、増収を予想。
採用・教育などの人材投資を進めながら、収益性の改善により増益を予想



©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

03 営業利益の増減要因分析予想



©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

03 ファシリティ事業の売上高・営業利益予想

ファシリティ、公営競技関連、ICTソリューション

売上高	6,051百万円	107.8%	UP
営業利益	767百万円	110.4%	UP

対前年比 ◎

分析

① 防炎合板・各種合板の加工製造・販売に関わる事業の増加
② 全熱交換器、空調給排水衛生設備の設計・施工・保守に関わる事業の増加
③ 公営競技事業の通信工事の拡充

今後の取り組み

① 空調給排水設備事業の営業体制強化
② 公営競技事業の体制強化

JESG ©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

03 環境事業の売上高・営業利益予想

水循環システム・アクアリウム、産業用太陽光発電設備の施工

売上高	1,643百万円	95.6%	DOWN	対前年比 △
営業利益	298百万円	84.6%	DOWN	

分析

① 水循環システム・アクアリウムは比較的堅調

② 産業用太陽光発電設備は前期好調の反動あり、当期は鈍化傾向

今後の取り組み

① 人員拡充による施工体制の強化

② 環境事業に関する新たな事業を拡充

JESG ©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

03 交通インフラ事業の売上高・営業利益予想

施設（電気通信等）保全業務、道路保全業務

売上高	7,315百万円	114.8%	UP
営業利益	1,502百万円	123.4%	UP

対前年比 ◎

分析

① 新規M&Aによる大鐘測量設計の売上高・営業利益の通期寄与による増加
② 高速道路運営事業者の受注増による売上高・営業利益の増加
③ Jes東海通建による高速道路エンジニアリング事業の拡充

今後の取り組み

① 建設コンサルタント事業によるグループシナジーの発揮
② 神奈川県の興電社、石川県のテックリエイトの両拠点を活かしたエリア拡大
③ 技術者の獲得と教育によりエンジニアリングサービスを強化

JESG ©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

トピックス・サステナビリティ

～ 2026/11/13 時点含む

04

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

04 アクアリウム事業 新規案件4件



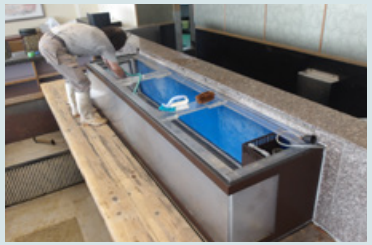


アトア

6/29~7/2

エレメンツエリアリニューアル工事及びアクアポニックス工事

エレメンツエリアにガラルファ水槽・カメ水槽・アクアポニックス水槽を設置



エクシブ鳥羽

7/22~7/24

生簀割烹海幸　水槽設備改修工事

生簀用水槽の改修工事



エクシブ琵琶湖

7/27~7/29

生簀用チラー更新工事

老朽化した生簀用チラーを新規チラーに更新

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

04 ウズベキスタン文化財補修ニーズ調査（2026年8月11日~8月19日）

現地調査を通じ、修復用和紙・修復技術および測量技術の活用可能性を確認。
グループ連携による海外事業展開に向けた検討を推進

目　的

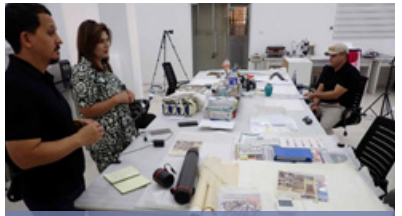
ウズベキスタンにおける文化財修復および遺跡調査の需要を把握し、
グループ会社と連携した海外事業展開の可能性を検討すること

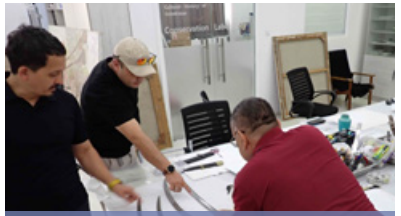
内　容

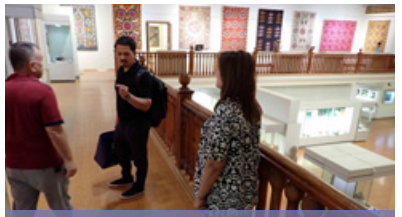
- タシケント、ヒヴァ、サマルカンド等において現地調査を実施
- 文化財遺産庁、文化遺産科学研究所、主要な国立・公立博物館を訪問し、グループ会社である宇佐美松鶴堂の修復用和紙等の資材を紹介・提供するとともに、紙・布製文化財の修復について意見交換
- 世界遺産ヒヴァ（イチャン・カラ）等の歴史的建造物を視察し、塩害や老朽化の状況を確認。
  3Dレーザースキャンやドローン測量を活用した保全手法について協議

成果と今後

- 現地の行政機関・博物館関係者より、日本の修復用和紙・修復技術に対する高い関心と、紙・布製文化財（現地関係者によると約1万点）の修復協力への期待を確認
- 塩害や傾きが見られる歴史的建造物について、3Dレーザースキャンやドローン測量による構造診断の有用性を現地関係者と共有
- 今後は現地関係機関との協議を継続し、修復協力の具体化に向けた検討を推進。
  あわせて、グループ会社の大鐘測量設計による遺跡の空撮調査等の実施可能性を検討


修復資材の提供・意見交換


国立文化史博物館 修復ラボ


博物館所蔵の染織品


イチャンカラ（ヒヴァ）


アヤズカラ遺跡


レギスタン広場（サマルカンド）

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

※本取り組みは検討段階であり、現時点において当社業績に与える影響は未定です。今後、開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

04 米国大学との交流を通じた双方のグローバル人材育成に向けて

西フロリダ大学の関係者を約2週間受け入れ、当社グループの事業・専門性を紹介。双方向の人材交流に向けた検討を開始

目　的

海外大学との連携を通じて、
グローバル人材の育成と国際交流の推進を図ること

内　容

- 米国・西フロリダ大学（University of West Florida）の関係者を約2週間受け入れ、当社グループの事業紹介および各事業所との意見交換を実施
- 文化財修復を手掛けるグループ会社の宇佐美松鶴堂、および同社が修復に携わる西本願寺を訪問し、修復工程を見学。
  同大学関係者より、学生の体験機会としての関心が示される
- グループ会社の経営層との面談において、同大学の学生をインターンシップとして受け入れる場合の実習内容・学習機会について意見交換

成果と今後

- 当社グループの多様な事業・専門性が、海外の学生にとって実践的な学びの場となり得ることを確認。社員にとっても、多文化理解の促進およびグローバルな視点の醸成につながる機会となることを確認
- 今後は、米国の大学からのインターンシップ生の受け入れに加え、
  当社社員の米国での語学研修等への参加についても検討。
  双方向の人材交流を通じ、中長期的なパートナーシップの構築を目指す


宇佐美松鶴堂の見学


西本願寺の見学


事業紹介・意見交換



日本文化体験

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

04 名証IRエキスポ2026への出展

直接言葉を交わせる場を、
これからも皆さまとともに大切に

当社は、2026年12月4日（金）および5日（土）に名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）にて開催される「名証IRエキスポ2026」へ出展いたします。今回で4回目の出展となります。「名証IRエキスポ」は、名古屋証券取引所が主催する、日本で最も歴史のある展示会形式のIRイベントであり、例年多くの投資家や関係者が来場する注目の催しです。これまでの出展においても、多くの株主の皆さまにご来場いただき、さまざまなお声を頂戴してまいりました。いただいたご意見は今後のIR活動に活かしてまいりますので、すでに当社株式を保有いただいている方も、これから当社に関心をお持ちいただける方も、どうぞお気軽にブースへお越しください。皆さまと直接お会いできることを、社員一同、心より楽しみにしております。



©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

04 福証IRフェスタ2026秋

投資家の皆さまの声を、次の成長の力に

当社は、2026年9月12日、福岡市中央区のTKPエルガーラホールにて開催された、福岡証券取引所主催の個人投資家向け会社説明会「福証IRフェスタ2026秋」に登壇いたしました。当日は、会場に多くの個人投資家の皆さまにご来場いただいたほか、WEB配信を通じても多くの皆さまにご参加いただきました。会社説明会では、当社の事業内容やこれまでの取り組みをはじめ、今後の成長戦略や事業展開、企業価値向上に向けた取り組みについてご説明いたしました。また、説明会を通じて、個人投資家の皆さまから当社の事業や今後の成長に関するさまざまなご質問・ご意見をいただき、当社への理解を深めていただくとともに、投資家の皆さまと直接対話する貴重な機会となりました。

全　社





©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

04 ISU1グランプリ 協賛

地域の「楽しい」で、一宮市をもっと元気に。

当社は、2026年10月17日（土）、愛知県一宮市の銀座通商店街特設コースにて開催された「いす-1GP 愛知一宮大会」に、協賛いたしました。「いす-1GP」は、日本事務いすレース協会（JORA）が主催する、オフィスで使われる事務いすを使ったユニークなレースです。メインの「いす-1GP」では3名1チームで2時間の耐久レースに挑み、小学生から参加できる30m直線タイムトライアル「いす-1GPゼロ3」も実施されました。尾張一宮駅から徒歩1分の商店街が特設コースとなり、エントリーは定員の30チームに達するなど、多くの参加者と観客でにぎわいました。当社はこれからも、地域に根ざした企業として、まちのにぎわいづくりや地域の皆さまの笑顔につながる取り組みを応援してまいります。



当社ゼッケンを着用した参加者



本社11Fより会場を撮影

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

04 かんぽ生命様による表彰とラジオ体操ワンポイントレッスン



「ラジオ体操優良団体」表彰を機にワンポイントレッスンを開催

2026年10月29日（木）、株式会社かんぽ生命保険のご協力のもと、本社機能を置くJES一宮ビル**11**階にて「ラジオ体操ワンポイントレッスン」を開催しました。当社では、社員の健康増進と職場のコミュニケーション活性化を目的に、毎朝の朝礼後にラジオ体操を実施しています。本年**7**月には、こうした継続的な取り組みが評価され、同社専務執行役今泉様より「ラジオ体操優良団体」として表彰状を受領しました。今回のレッスンは、この表彰を契機に開催したものです。当日は、同社名古屋法人支店 支店長 毛利様のご挨拶に続き、NPO法人全国ラジオ体操連盟指導委員で、NHKテレビ・ラジオ体操のアシスタントを務められた押味愛里沙氏を講師にお迎えし、ラジオ体操第一の指導を受けました。ご協力いただいた皆様に、心より御礼申し上げます。



©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

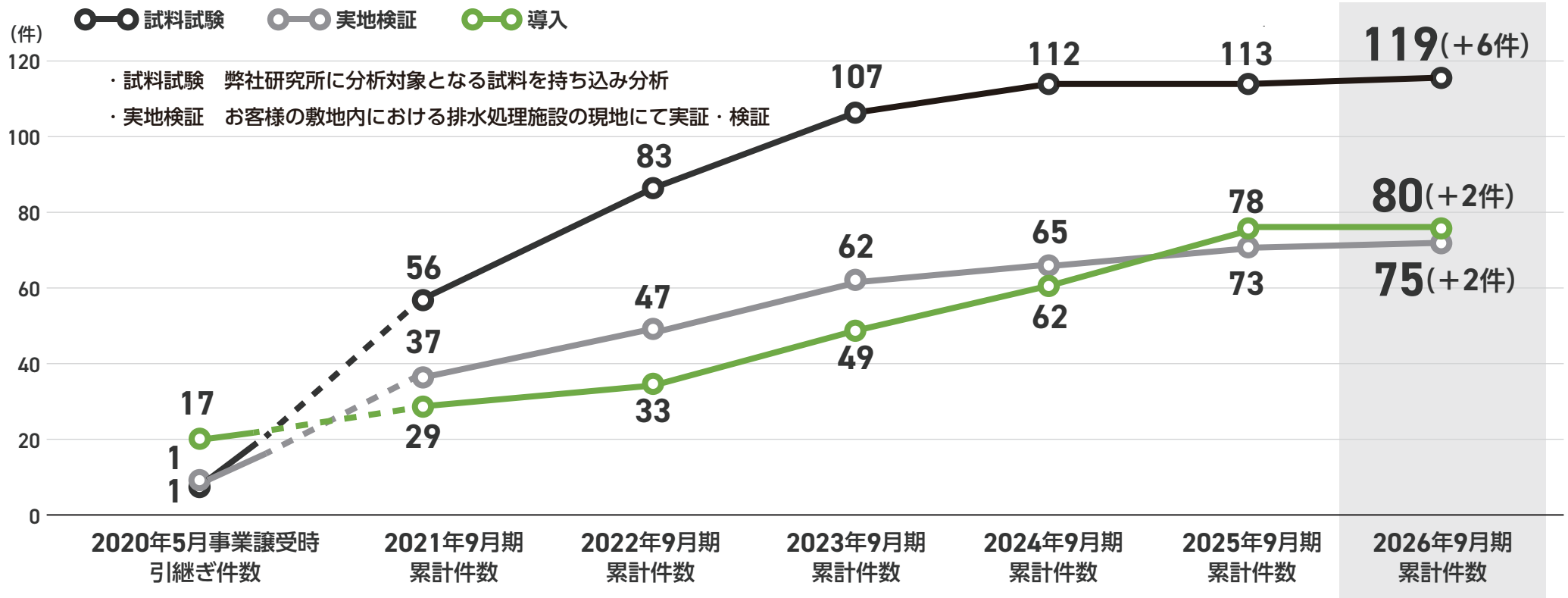
事業開発・研究開発の状況

05

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

05 排水処理剤、試料試験・実地検証の件数推移

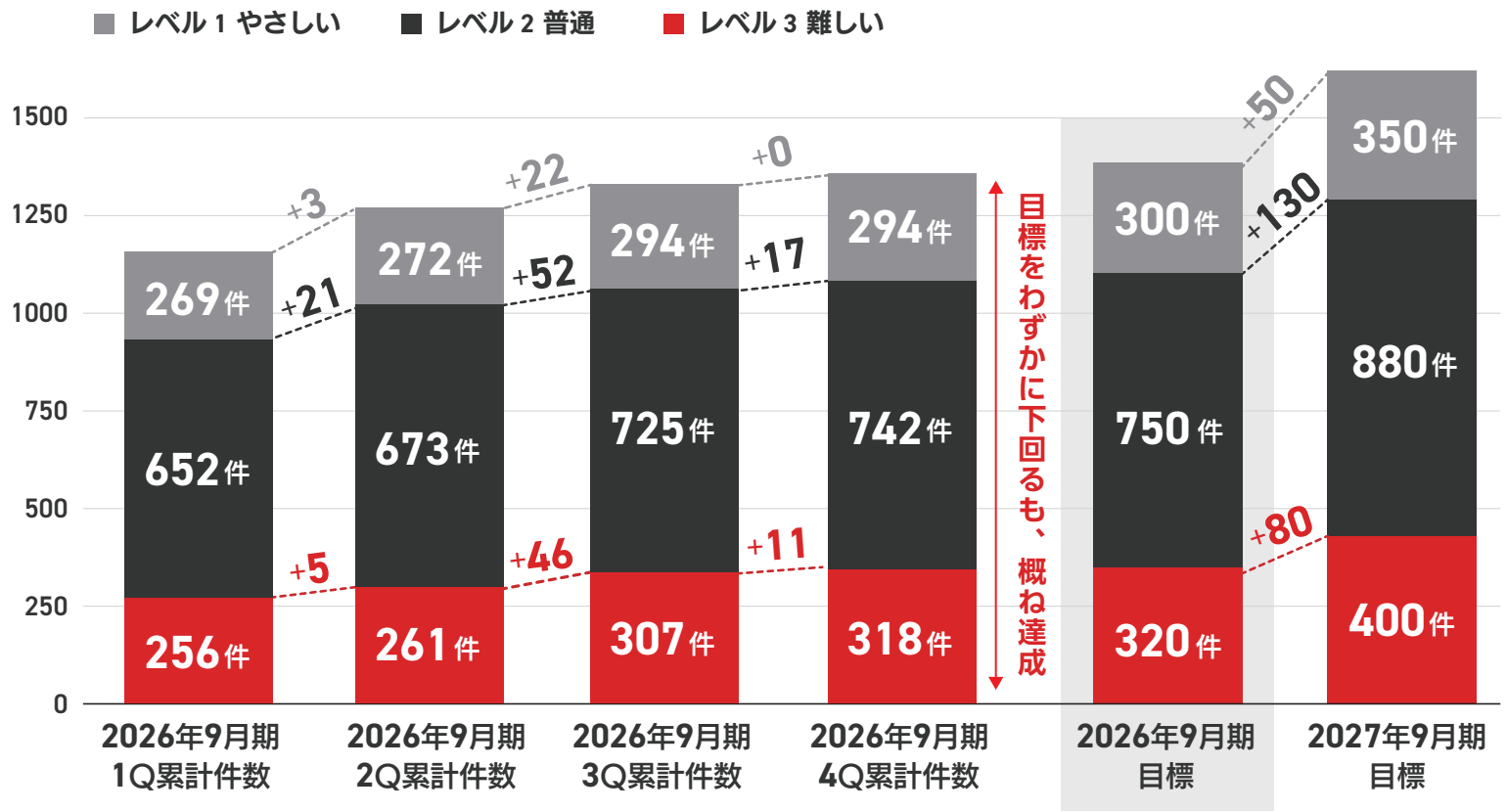
継続的な営業活動の推進により実地検証および導入の件数が拡大



©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

05 JESグループ累計 資格取得数

グループ全体での資格取得推進を図るとともに、JES アカデミーを活用した実践的な教育に尽力し、後継者の育成とスキル向上を通じて、組織全体の発展に寄与



■ 2026年9月期

レベル1 294件　レベル2 742件
レベル3 318件

※なお、取得難易度に応じてレベル区分をしております。

累計件数

1,354件

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

2026年9月期
株主還元・株式情報

06

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

06 株主還元

2027年9月期は、年間配当を19円/株へ増配予定。（5期連続増配）
第2四半期 中間配当を9円/株、期末配当を10円/株とし、3分割後も毎期1円増配を継続。
安定性・継続性のある累進配当に加え、利回りを重視した株主優待制度も継続して実施

2027年9月期（予想）

中間配当	9.00円/株
期末配当	10.00円/株
年間配当	19.00円/株
年間株主優待	30,000円（クオカード）

2026年9月期

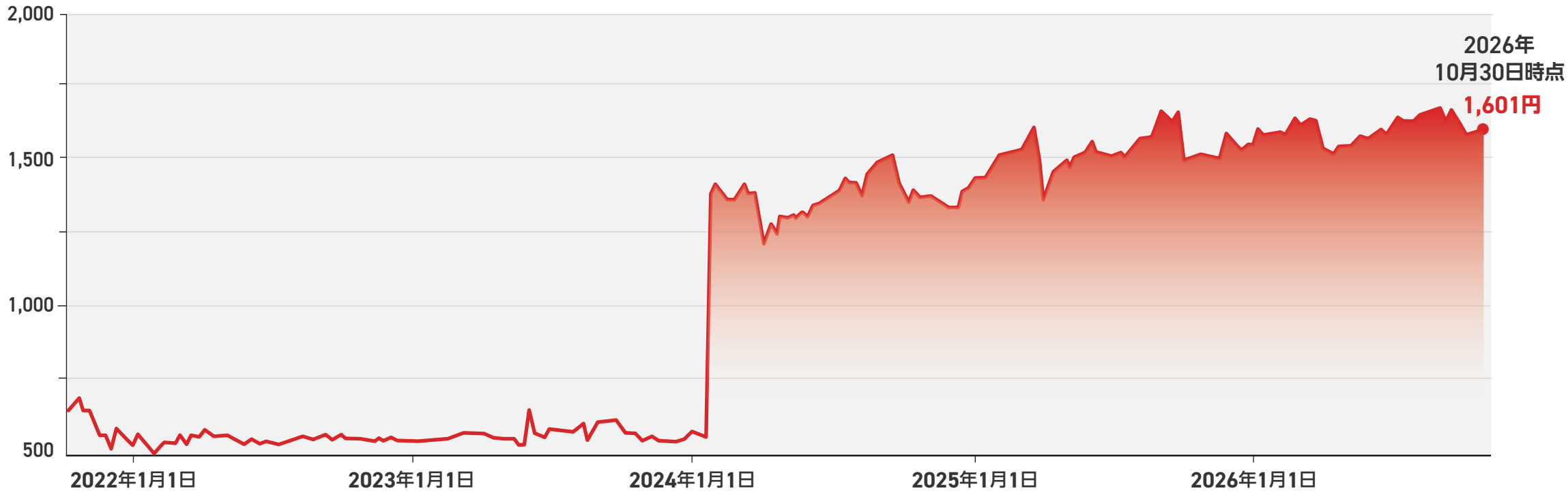
中間配当	9.00円/株 ※1
期末配当	9.00円/株
年間配当	18.00円/株
年間株主優待	30,000円（クオカード）

JESG ©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

※1 2025年4月1日をもって、当社株式を1株につき3株の割合で分割しております。 当該分割後を基準に算出した数値を表示しております。

06 株価の推移

株価※1は約3年間で約2.3倍※2に上昇。株主優待により株価急騰するも、その後も堅調に推移



※1 2025年4月1日をもって、当社株式を1株につき3株の割合で分割しております。 当該分割後を基準に算出した数値を表示しております。

※2 上場時（2021年10月8日）と資料作成時点（2026年10月30日）の終値を比較しています。

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

役員紹介

07

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.



社会・環境と共に発展できる「エコシステム」の実現へ

社会への貢献を第一と考え、
多様化する社会のニーズに応え続けるために、
より一層の企業価値向上に努め、社会に必要とされ続ける
「300 年企業」の創造を目指してまいります。

代表取締役社長　松島 穣

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

07 役員紹介



松島 穣
代表取締役社長



中村 成一
専務取締役
交通インフラ事業担当



奥村 泰典
常務取締役
ファシリティ事業担当



内田 敦
取締役
グループ会社事業推進担当
交通インフラ事業担当



稲生 篤彦
取締役
管理本部担当



瀧本 裕二
取締役
環境事業担当



杉戸 俊之
独立社外取締役



田野 好彦
独立社外取締役



伊東 史子
独立社外取締役



亀山 直人
取締役常勤監査等委員



加納 正二
独立社外取締役監査等委員



南 善隆
独立社外取締役監査等委員

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

会社概要

08

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

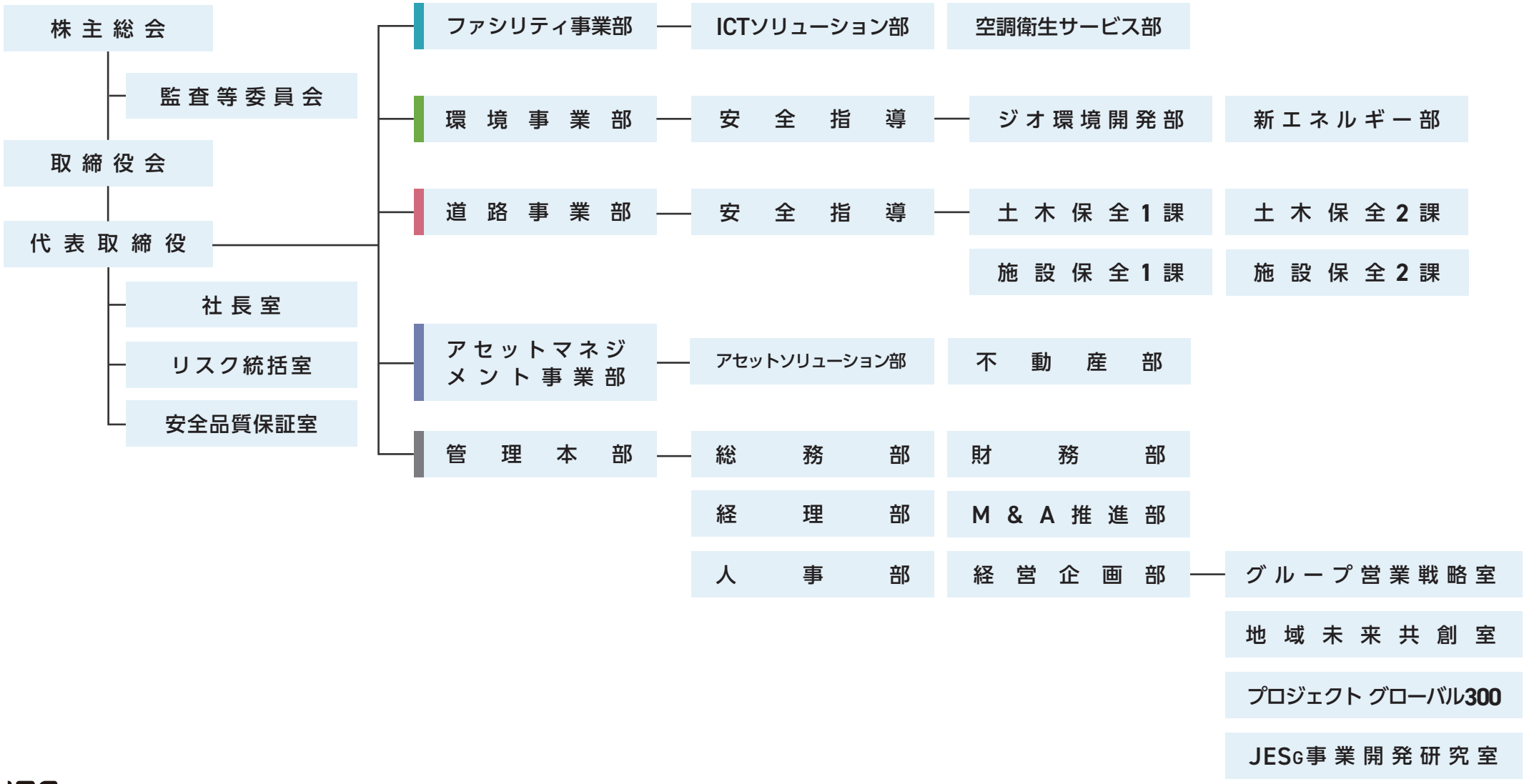
08 基本情報

会社名	日本エコシステム株式会社
会社所在地	愛知県一宮市本町２丁目２番２号 JES 一宮ビル 11F
代表者	代表取締役社長　松島穣
事業内容	■ファシリティ事業 防災合板の製造販売、空調給排水衛生設備の施工・管理、 公営競技場におけるトータリゼータシステムの設計･製造･販売･ 機器設置・メンテナンス、AI・ICT ソリューション ■環境事業 排水浄化処理および水循環・アクアリウムに関する事業、 再生可能エネルギー発電設備の開発・販売・設計・施工 ■交通インフラ事業 高速道路を中心とした電気通信設備・ETC保守、橋梁・構造物の 点検、道路・公共設備の照明灯工事、道路等の維持修繕工事

資本金	1,021,480,263 円 ※26/9/30 時点
決算期	9 月
発行済株式数	8,811,300 株 ※26/9/30 時点
従業員数	連結 847 名（平均臨時雇用人員含む） ※26/9/30 時点
監査法人	有限責任中部総合監査法人
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場 名古屋証券取引所 メイン市場 札幌証券取引所 本則市場 福岡証券取引所 本則市場

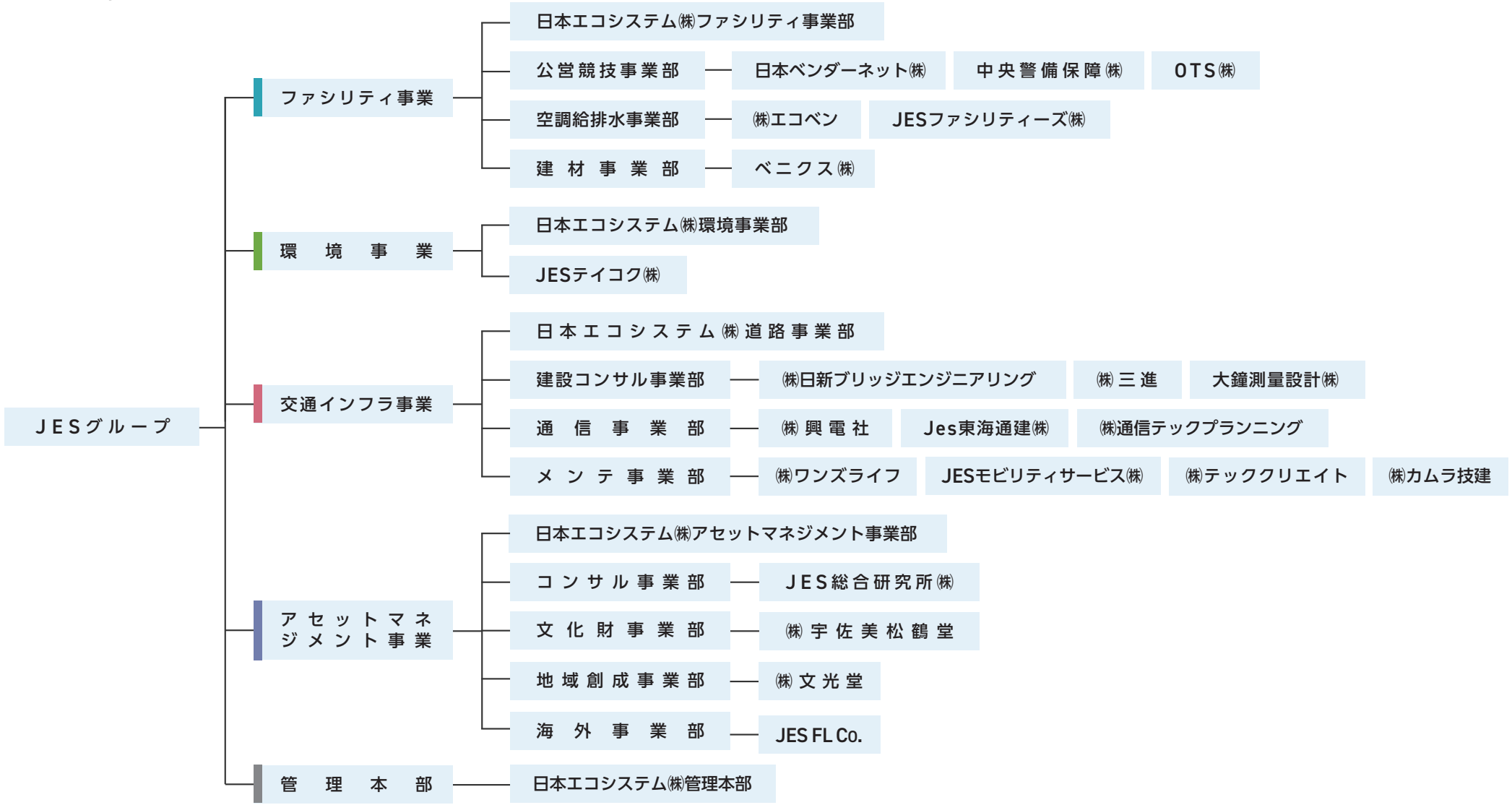
©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

08 日本エコシステム 組織体制



©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

08 JESグループ 組織体制



©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

08 グループ会社

ファシリティ



6社

- 日本ベンダーネット株式会社
- 中央警備保障株式会社
- OTS 株式会社
- JES ファシリティーズ株式会社
- 株式会社エコベン
- ベニクス株式会社

※1

交通インフラ

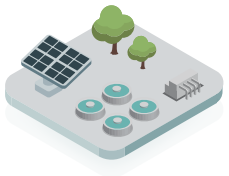


10社

- 株式会社ワンズライフ
- JESモビリティサービス株式会社
- 株式会社日新ブリッジエンジニアリング
- 株式会社興電社
- 株式会社テッククリエイト
- Jes東海通建株式会社
- 株式会社三進
- 株式会社カムラ技建
- 大鐘測量設計株式会社
- 株式会社通信テックプランニング

※1

環境



1社

- JES テイコク株式会社

※1

アセットマネジメント



4社

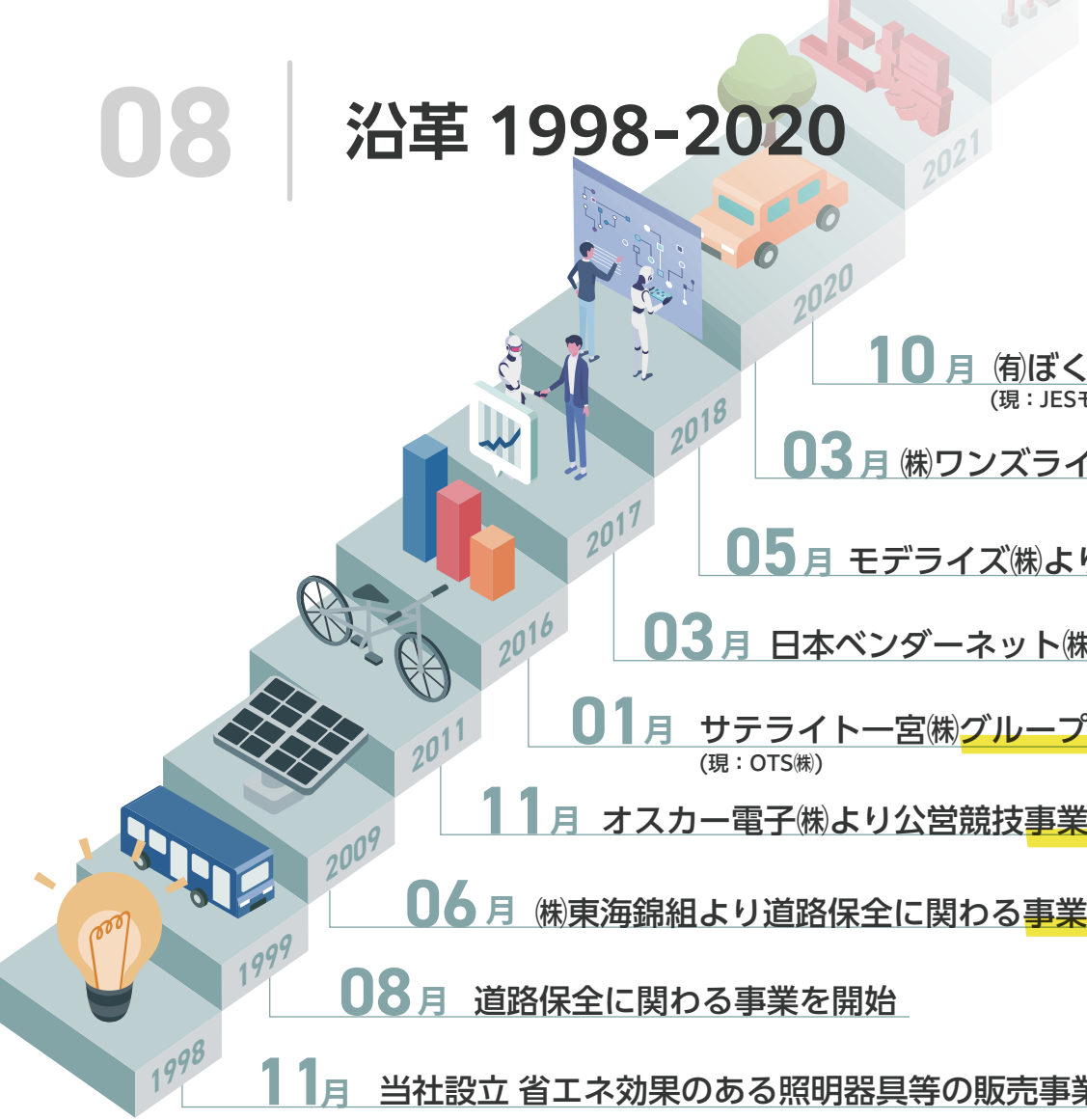
- JES 総合研究所株式会社
- JES FL Co.
- 株式会社宇佐美松鶴堂
- 株式会社文光堂

※1

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

※1 日本エコシステムを除く

08 沿革 1998-2020



10月 ㈲ぼくんちオジカオートグループ化
(現：JESモビリティサービス㈱)

12月 排水浄化処理剤の製造工場稼働

03月 ㈱ワンズライフグループ化

05月 ㈱セイネンより排水浄化処理剤の製造・販売に関わる事業を譲受

05月 モデライズ㈱よりAIに関わる事業を譲受

03月 日本ベンダーネット㈱グループ化

01月 サテライト一宮㈱グループ化
(現：OTS㈱)

11月 オスカー電子㈱より公営競技事業を譲受

06月 ㈱東海錦組より道路保全に関わる事業を譲受

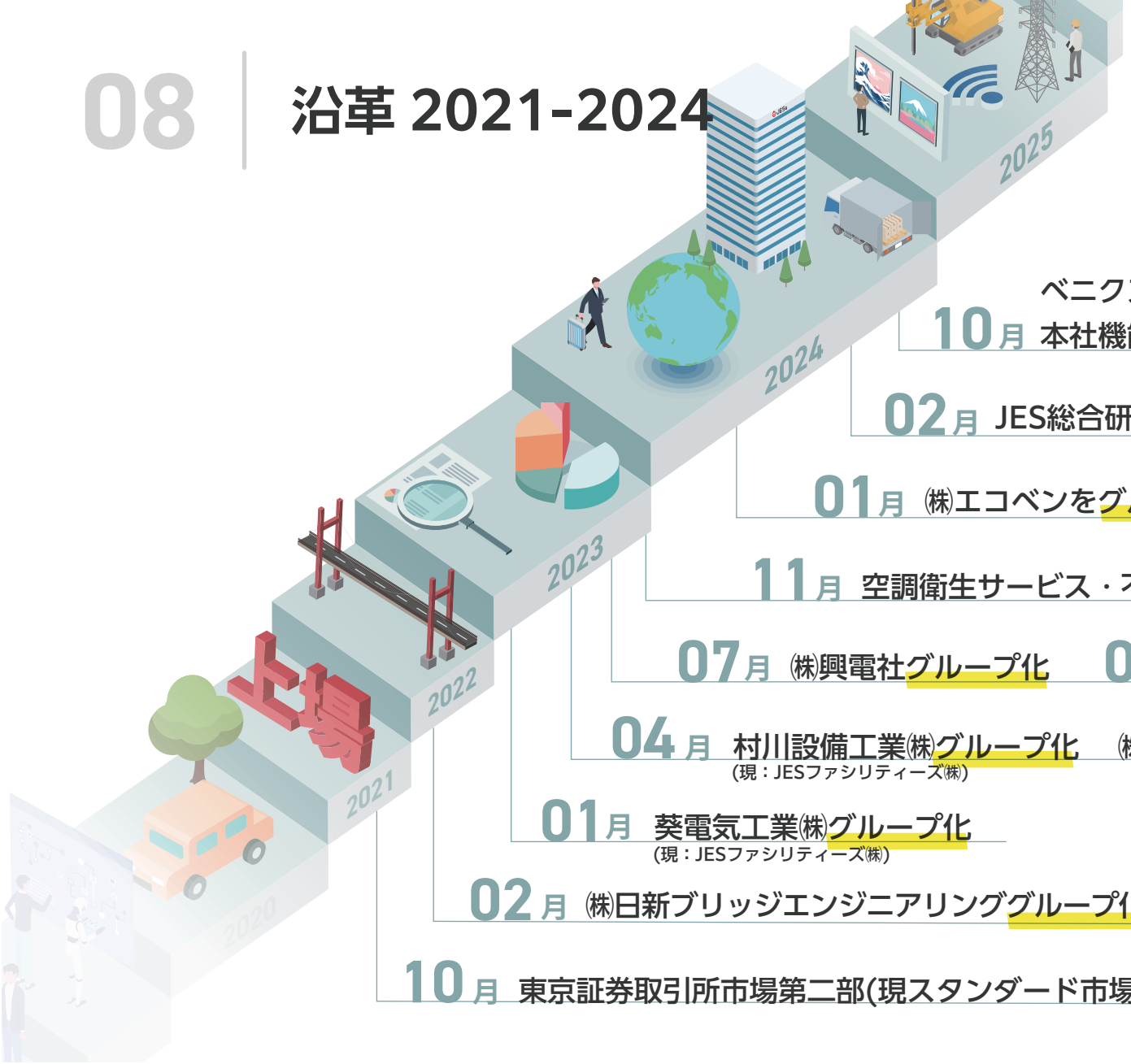
07月 新再生エネルギー製品の販売・施工に関する事業を開始

08月 道路保全に関わる事業を開始

11月 当社設立 省エネ効果のある照明器具等の販売事業を開始

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

08 沿革 2021-2024



2024

10月 ベニクス㈱をグループ化

10月 本社機能を備えた賃貸ビル「JES一宮ビル」が完成。同ビルの賃貸事業を開始

02月 JES総合研究所㈱をグループ化

01月 ㈱エコベンをグループ化　米国進出を目的とした現地法人JES FL Co.を設立

2023

11月 空調衛生サービス・不動産部の新拠点 FUJI 138 OFFICE 開設

07月 ㈱興電社グループ化　09月 ㈱テッククリエイトグループ化

2022

04月 村川設備工業㈱グループ化
(現：JESファシリティーズ㈱)
㈱zoomより競輪情報サイト事業運営事業を譲受

2021

01月 葵電気工業㈱グループ化
(現：JESファシリティーズ㈱)

02月 ㈱日新ブリッジエンジニアリンググループ化　11月 オー・ティー・エス技術サービス㈱グループ化
(現：OTS㈱)

2020

10月 東京証券取引所市場第二部(現スタンダード市場) 上場　名古屋証券取引所市場第二部(現メイン市場) 上場

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

08 沿革 2025-2026



5月 福岡証券取引所 本則市場上場　**7月** ㈱通信テックプランニンググループ化

4月 札幌証券取引所 本則市場上場

4月 大鐘測量設計㈱グループ化　㈱文光堂のグループ化

4月 葵電気工業㈱をJESファシリティーズ㈱へ吸収合併

10月 ㈱カムラ技建グループ化　空調給排水衛生事業をJESファシリティーズ㈱に統合

04月 Jes東海通建㈱グループ化　㈱三進グループ化

02月 ㈱宇佐美松鶴堂グループ化

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

※本ページ中のロゴ・マークは各社の登録商標または商標です

08 M&Aおよび事業譲受の実績26件

上場前 9件

1 (株)東海綿組 2009年6月 事業譲受	2 オスカー電子(株) 2011年11月 事業譲受	3 ホテライト宮 (現:OTS(株)) 2016年1月 グループ化(100%)
4 日本ベンダーネット 2017年3月 グループ化(100%)	5 中央警備保障 2017年3月 グループ化(100%)	6 モデライズ(株) 2018年5月 事業譲受
7 one's life 2020年3月 グループ化(100%)	8 株式会社セイネン Seinen 2020年5月 事業譲受	9 BOKUNCHI オジカオート (現:JESモビリティサービス(株)) 2020年3月 グループ化(100%)

上場後 17件

10 NSB 2022年2月 グループ化(100%)	11 OTS 2022年11月 グループ化(100%)	12 葵電気工業 株式会社 2023年1月 グループ化(100%)	13 村川設備工業㈱ 2023年4月 グループ化(100%)	14 zoom zoomcom.net 2023年4月 事業譲受
15 興電社 Kou・Den・Sya 2023年7月 グループ化(100%)	16 株式会社 テッククリエイト 2023年9月 グループ化(100%)	17 ECOVEN 2024年1月 グループ化(100%)	18 JES総合研究所 Japan Eco System Research Institute 2024年2月 グループ化(100%)	19 VENIX Venix Co., Ltd. 2024年10月 グループ化(100%)
20 株式会社 宇佐美松鶴堂 2025年2月 グループ化(100%)	21 Jes東海通建 2025年4月 グループ化(100%)	22 株式会社 三進 Sansin Co.,Ltd. 2025年4月 グループ化(100%)	23 kamura giken 2025年10月 グループ化(100%)	24 大鐘測量設計株式会社 2026年4月 グループ化(100%)
25 株式会社 文光堂 2026年4月 グループ化(100%)	26 CTP 株式会社通信テックプランニング COMMUNICATION TECHNIC PLANNING 2026年7月 グループ化(100%)			

事業譲受　グループ化

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

※本ページ中のロゴ・マークは各社の登録商標または商標です

［ JESグループ共通社是 ］

未晃道（みこうどう）

未来の地球を照らし、輝き続ける事業を創造します

［ 経営理念 ］

事業を通じ、物心両面の幸福を追求すると同時に、
かけがえのない地球環境の維持にも貢献します。

JESG ©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

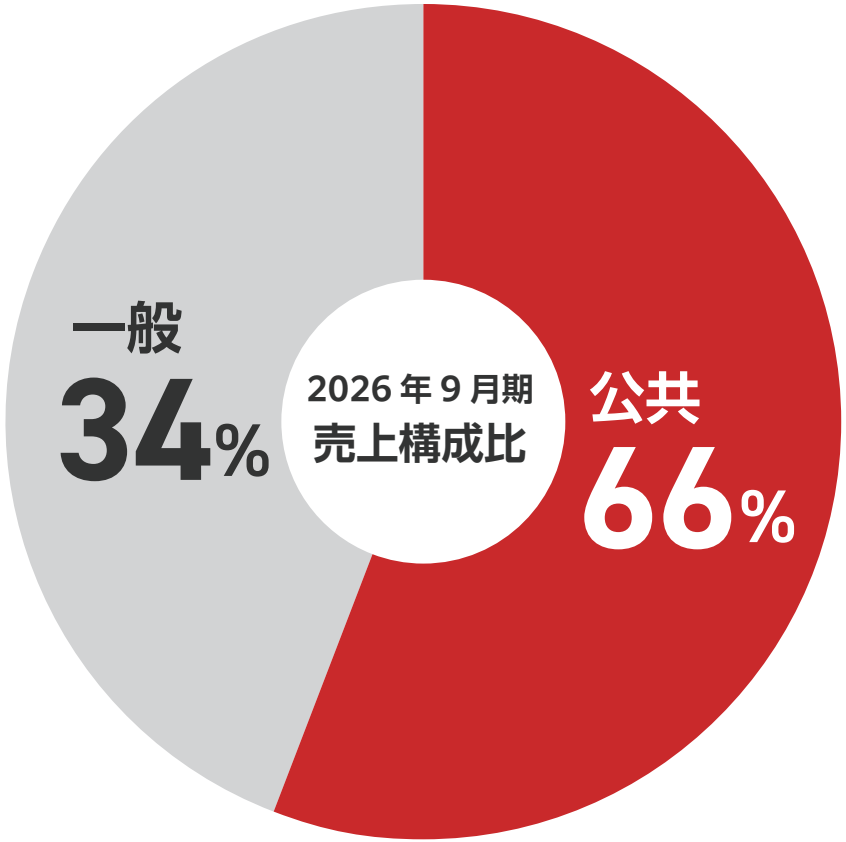


社会の課題を解決し、必要とされ続ける

300年企業を創造

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

08 当社の事業の特徴　売上構成比

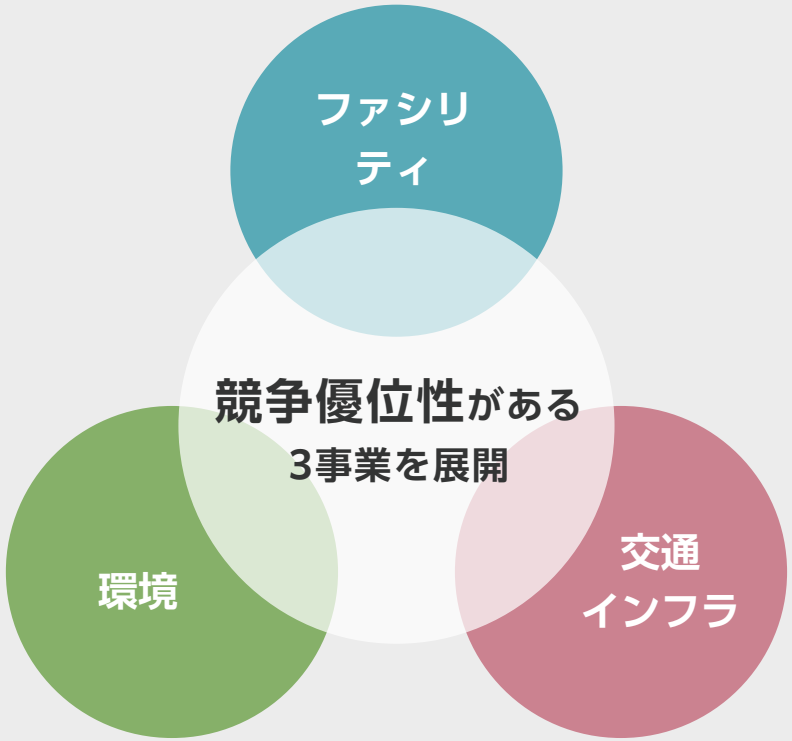


BtoP（Public）を中心とした
安定性の高い領域で事業展開

当社グループは競争優位性がある
ファシリティ・環境・交通インフラの
3セグメントより構成

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

08 当社の事業の特徴　競争優位性



ファシリティ

企業や自治体が使用する設備（空調給排水・電気・機器・木材等）といったハード面から
公営競技運営・イベント企画・警備・AI・ICT 等のソフト面まで幅広くサポート。

環境

再生可能エネルギー事業に加え、排水処理事業・水循環事業を開始。
長期成長分野の事業として育成中。

交通インフラ

主に自治体・中部エリア高速道路運営事業者からの委託を受けて構造物点検や電気通信設備・
ETC 等の保守サービスを展開。高度な安全技術で高付加価値の高い収益性を実現。

JESG ©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

08 当社グループと主要セグメント

エンジニアリング・メンテナンスを強みに公共施設・環境関連向け「社会インフラサービス企業」として事業展開

得意先（Public：地方公共団体・高速道路運営事業者等）



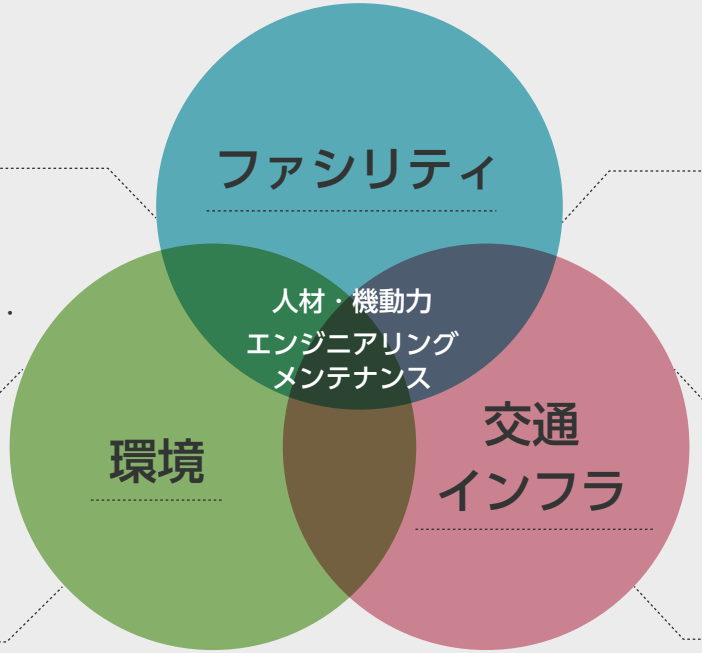
【ファシリティ】
防炎合板等の製造販売
空調給排水衛生設備の施工・管理



【排水浄化処理／水循環事業】
水循環システムおよび処理設備の設計・施工・メンテナンス
排水浄化効率促進製剤の製造・販売



【再生可能エネルギー】
太陽光発電設備の販売・施工等





【公営競技・ICT】
公営競技施設の保守・運営等
AI 活用サービス、ICT 事業



【エンジニアリング】
高速道路付帯設備（ETC 等）の維持・管理、高速道路の橋梁点検、LED 照明設備の設置等
携帯電話無線基地局工事



【メンテナンス】
事故処理・雪氷対策等

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

08 各事業分野のポジショニングと方向性

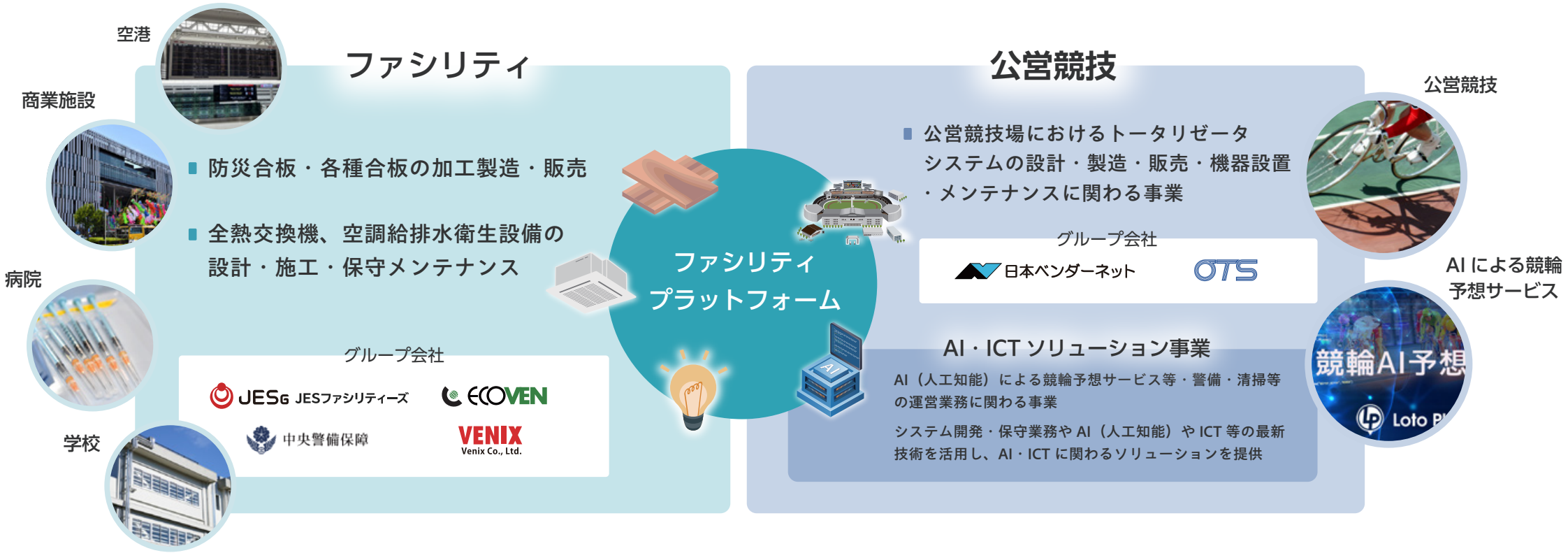
● ファシリティ事業　● 環境事業　● 交通インフラ事業　● アセットマネジメント事業

注力分野 積極的な投資で事業拡大	空調給排水	道路エンジニアリング	建設コンサル	水族館 水槽・設備	再生可能 エネルギー
深化分野 効率化で収益性向上	道路メンテナンス	防災合板 パネル	公営競技	産業用 LED	不動産
長期成長分野 研究開発や新事業創出	水処理 システム	排水浄化 プラント	AI・ICT ソリューション	文化保全	海外展開

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

08 ビジネスモデル ファシリティ事業

- ファシリティ事業では、地域社会の快適性・利便性向上に貢献する生活インフラサービスを提供
- 公営競技事業では、地域活性化に資する社会的意義の高い事業を展開



©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

08 ビジネスモデル 環境事業

- 2020年より排水浄化処理事業を開始、長期成長分野の事業として育成中
- 産業用太陽光発電設備の施工および売電が現在の主力事業

排水浄化処理 / 水循環事業

薬剤製造・設備施工・研究開発
水族館、アクアリウム向けユニット水槽および循環システム製造

直納 / 商社・販売店経由 / エンジニアリング


化学工場


食品工場


水族館


浄水場

再生可能エネルギー事業

産業用太陽光発電設備の設計・施工・保守

施工 / メンテナンス


太陽光発電事業所

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

08 ビジネスモデル 交通インフラ事業

- 高速道路上のエンジニアリング＆メンテナンスに特化
- 高度な安全技術で高付加価値の高い収益性を実現

地方公共団体
高速道路会社



JESグループ 交通インフラ分野 10社

JESG
NSB
one's life
JESMS
電社 Kou・Den・Sya
株式会社 テッククリエイト
株式会社 三進 Sansin Co.,Ltd.
Jes東海通建
kamura giken
CTP 株式会社通信テックプランニング COMMUNICATION TECHNIC PLANNING

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

グループ会社との歩み

歴史とシナジーで拓く300年企業

当社は、「300年企業」の実現を目指しています。M&Aを通じて老舗企業の歴史やノウハウを取り込みながら、多様な事業を展開し、グループシナジーを創出することで、環境変化に強い事業基盤を構築し、持続的な企業価値の向上を目指しています。

JESG300
グループの総合力で300年企業を創造

創業1年～20年
5社

- ワンズライフ18年
- JESテイコク15年
- JES FL Co.3年
- JES総合研究所3年
- Jes東海通建2年

創業21年～50年
7社

- JESモビリティサービス38年
- カムラ技建37年
- ベニクス35年
- 日新ブリッジエンジニアリング32年
- エコベン31年
- テッククリエイト26年
- 通信テックプランニング25年

創業51年～240年
9社

- JESファシリティーズ78年
- 日本ベンダーネット58年
- 三進55年
- 中央警備保障55年
- 大鐘測量設計53年
- OTS52年

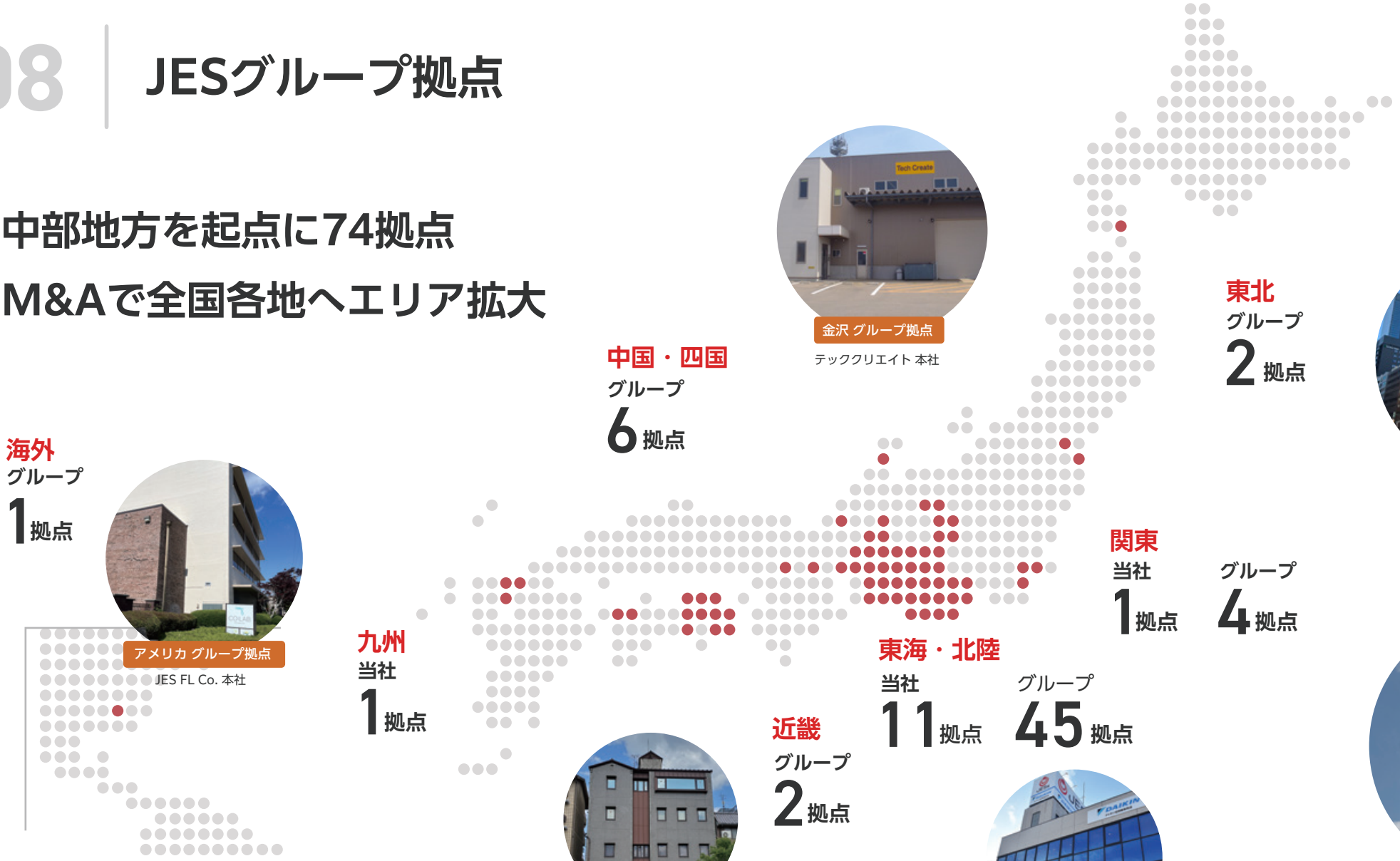
- 宇佐美松鶴堂240年
- 文光堂127年
- 興電社103年

1年～10年 | 11年～20年 | 21年～30年 | 31年～40年 | 41年～50年 | 51年～60年 | 61年～100年 | 101年～240年

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

08 JESグループ拠点

中部地方を起点に74拠点
M&Aで全国各地へエリア拡大



北海道
グループ
1拠点

金沢 グループ拠点
テッククリエイト 本社

中国・四国
グループ
6拠点

東北
グループ
2拠点


東京 グループ拠点
日本ベンダーネット 本社

海外
グループ
1拠点

アメリカ グループ拠点
JES FL Co. 本社

関東
当社
1拠点
グループ
4拠点

九州
当社
1拠点

東海・北陸
当社
11拠点
グループ
45拠点

近畿
グループ
2拠点

京都 グループ拠点
宇佐美松鶴堂 本社

愛知 FUJI 138 OFFICE


愛知 一宮本社

※2026年9月30日時点の情報です。

JESG ©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.

本資料における注意事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは
現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

本資料及び当社IRに関するお問合せ先　管理本部IR担当

0586-64-9249

ir.jesg@jp-eco.co.jp

©2026 Japan Ecosystem Co., Ltd.